



津奈木公民館
電話 (78) 5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」の額を写したものです。

津奈木



トルソ



水俣消防署

モデル公民館発表
丸岡自治公民館の取り組み
本年度のモデル公民館の指定を受けた丸岡自治公民館が社会教育審議員や各公民館長さん方をお迎えして、地区民あがりの火災時の避難や消火訓練の様子を発表されました。「団地一階の〇号室から火災が発生しました。指定の所へ避難して下さい」とハンドマイクで通報されると、各棟の部屋から整然と避難され、六分以内には人員点呼まで終了しました。その後、五階に三名逃げ遅れたと想定して、水俣消防署の梯子車による救出訓練が展開されました。又、消火器での消火訓練や人形を使つての心肺蘇生法の訓練もありました。いつ、なにか災害が起らないとも限りません。訓練を重ね、非常時にあわてない心を育てることを誓いながら、楽しいビンゴゲームをしながらの会食会だ。発表会が終りました。

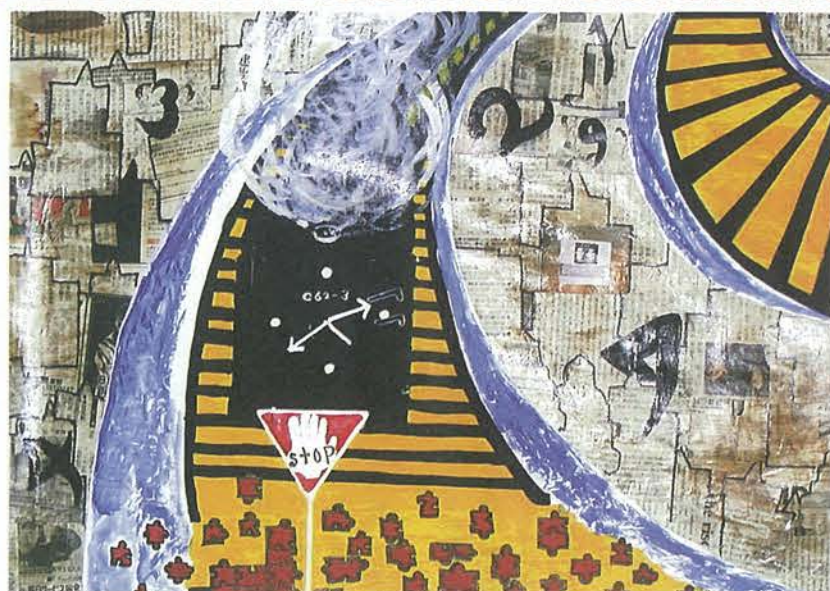
一言
緑と彫刻のある町、津奈木、なんと響きの良いキャッチフレーズだろう。町を出て四十年、Uターンして町の様子を見て油絵に情熱を燃やした頃が思いだされます。会社の絵画部に席を置き、市の美術展や県展、中央の勤労者美術展に入選や入賞をして絵描きになろうかと思つた事もありました。相模原へ転動した時は、休日を利用しては東京の美術館回りをしたり、銀座の画廊を見て回りました。また、多くの美術展を見たりしました。津奈木は美術館の完成が楽しみです。素晴らしい彫刻も町のあちこちで見られますが、宇部市の公園の彫刻も印象に残っています。広大な緑の芝生の中に、当時の日展の入賞作品がずらり立ち並ぶ姿は壮観でした。箱根の野外彫刻群も世界的な作品ばかりで素晴らしいものです。彫刻のある町津奈木、一日楽しめる彫刻のある公園などどうでしょう。赤崎にも建つことを願っています。(佐々木省三)

子ども美術館 (4)

「時間よ止まれ」

津奈木中二年 実光 奈菜

やりたいことがたくさんあるのに、やらなければならないことで時間に追われ、毎日が過ぎていく。そんな時間が止められればいいのにと願いがあって描かれた作品です。



平成12年度 優勝 内野チーム
町民体育祭 " 日当チーム
3位 平国下チーム

種目	1	2	3	4	5	陸上競技大会順位	陸上競技大会順位得点	総合順位	総合順位	前年度総合順位	本年度総合順位	躍進
男子ソフト	5	5	5	12	107	18	4	31	19	19	19	9
女子ミニバレー	5	8	8	12	181	1	21	54	9	4	9	16
野球	8	20	8	5	159	7	15	56	8	2	8	18
水泳	8	8	5	8	145	11	11	40	16	11	16	16
中	8	8	8	8	0	21	1	33	18	19	18	8
新川	17	5	8	10	110	17	5	45	14	14	14	9
古川	8	5	8	12	117	16	6	39	17	11	17	18
大泊	11	5	11	20	164	5	17	64	4	3	4	13
中尾	8	8	8	8	161	6	16	48	12	14	12	6
古中尾	5	14	8	10	123	14	8	45	14	18	14	3
倉谷	8	17	11	5	147	10	12	53	10	8	10	14
内野	20	11	14	8	159	7	15	68	1	4	1	4
上下門	11	11	20	8	132	12	10	60	6	8	6	6
川内	8	0	5	5	45	20	2	20	21	21	21	9
福浦	11	8	17	10	165	4	18	64	4	14	4	1
平国上・辻	11	8	14	12	123	14	8	53	10	10	10	9
平国下	8	11	11	16	169	3	19	65	3	1	3	14
日当	14	11	5	18	178	2	20	68	1	4	1	4
日添	5	14	11	14	155	9	13	57	7	14	7	2
小津奈木	14	8	5	10	129	13	9	46	13	7	13	18
丸岡	5	5	8	8	87	19	3	29	20	13	20	21

見事な優勝!!

郡市中学校陸上競技大会



郡市中体連合併初の陸上大会で、津奈木中は、見事総合優勝を果たしました。前評判では水俣一中が断然優勢でしたが、我が津奈木中は大健闘しました。

毎年、選手選考での泣き笑い。暑い夏休み中の練習。自分の部活動との両立。三年生には、受験勉強に専念したい時期。人知れず悩み、苦しむ毎日が続いたことでした。今年、最初から選手たちの力がそろうていたわけではありませんが、日々の努力と様々な犠牲のもとにそれぞれが力を出し切ったと言えます。地元開催、初の郡市合併、学校代表ということで、出場できなかった生徒も含め全員一丸となって頑張った



中体連優勝の表彰

自己の鍛錬だけでなく、人のために力を出すことは、この年代にしか味わえない貴重な体験かもしれません。地域中に喜びと感動を与えた生徒たちに誇りと感謝の気持ちで一杯です。

編集後記
今年は心配された台風の被害もなく、実りの秋を迎えることができました。美術館も十月いっぱい建物完成し、来春のオープンに向けての内部の準備が始まります。どんな形で私達の前に目見えするか楽しみに待ちたいものです。
十一月十一日(土)、十二日(日)の両日には、ふれあいまつり2000が開催されます。今年も多く多くの町民の協力と参加を頂き、大盛況の中での催しとなることを願っています。

退任のご挨拶



元教育委員 長和 山下

此の度、四期十六年に亘って務めさせていただきました教育委員を、九月三十日をもって辞任致しました。昭和五十九年、委員の大役を仰せつかり、不束ながらも、児童生徒の健全育成の為の学校教育、又社会教育、社会体育の充実発展の為、微力ながら尽力して参りました。その間、町行政の方、多くの町民の方々の

川内原子力発電所を訪ねて

赤崎老人クラブ

赤崎老人クラブはあけぼの大学で、川内原子力発電所の、戦国村、川内歴史資料館の研修に出かけました。人員四十二名、赤崎を八時に出発、車中では面白い落語を聴きながら阿久根を九時十分通過、川内原子力発電所に十時二十分到着。玄関に係の人の出迎えを受け、すぐに展望室へ案内して下さり、発電所全景の模型を見ながら説明がありました。遠くに見る一号機、

二号機を眺めながら中の方へ移動。二階は実物大外周コンクリート壁、実物大格納容器鋼板内の作業服。内部コンクリート壁、一階は実物大原子炉模型、原子力発電所のしくみ、一次冷却水管(実物)、原子炉建屋模型、燃料集合体(実物)、各種パネル模型の説明を聴いてこの見学は終わり、車で移動。一号機、二号機のある所へ説明を聴きながら一周し、海水がきれいになって出入りする所を見て出発点に戻りました。発電所の感想は、模型が大きく

出来た世の中になってしまいました。パソコン、ワープロ、インターネット等、ITによる日常生活への進入は、私にとっては恐怖の人生となりました。携帯電話や電子機器の功罪は別として、電子機器による犯罪も大いに気になります。要はそれを取り扱い利用する人間の「良心」を原点に返って教育しなければならぬのではないのでしょうか。最後に津奈木町の学校教育、社会教育、社会体育等々、益々の充実発展を願って退任の挨拶と致します。

安全で小さい事故をも出さないよう努力されておられるのがよく分かりました。昼食後、戦国村へ。ここは徳川時代の武家屋敷、殿様と家臣、寺子屋、武家の台所、幕末や維新に尽くされた人、西郷隆盛、大久保利通、大隈重信、坂本龍馬、岩倉具視、この人達がおられたからこそ今の日本があると思う歴史資料館を見、記念写真をとって帰路につきました。楽しく有意義な一日を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。

「おやは、自分の子はみんなかわいいんじや。おぼえとけ。」と、言いました。正太は、はっと思いました。正太は、夕方になると正太の足も

読書感想文

「かあちゃんなんか大きらい」を読んで

平国小2年 ふく山 ゆり

しぜんにはやくなつていききました。正太は、ごはんをたべようと家へ帰ろうとしたけど、自分がどこを歩いているのかわからないからどうしようと思っていきました。でも正太は歩けばきつと見おぼえのあるところにつくと思っていながらすごいなあ、と思いました。正太はおこつていえをどき出したけれど、ぶじに家にかえってわたしはよかったなあ、と思いました。これから正太はかぞくみんなとなかよくくらししていけたらいいなあ、と思いました。

町図書館

「子供読書年」本と人の存在

今年は大きな区切り目を迎えた二〇〇〇年、そして「子ども読書年」の年でもあります。町図書館もリニューアルし、夏休み期間中も終日利用で賑わいました。小学生から一般まで特に増えつつあるのが、小さな子供連れのお母さん達です。本に親しむためには小さい時から生活の中に本があり、本との仲立ちをする大人がそばにいること、つまり人の存在が大切だと思えます。幸い、貸出しも対面方式で会話が生まれました。小学生は毎日のように立寄り、勉強する人、読書する人、またこの場所を楽しんでいる人で大賑わい。いたずらっ子もいます。でもふと自分の興味ある本を見つけ出すと静まり、目を輝かせ、そして語りかけます。皆な本が好きなのです。そばに居るだけか子どもと本をつなぐ読書の楽しさと大切さをわちあ合つ、これが子どもの心に根づかせる手だてではないかと思



います。本が恋しくなるこの季節、皆さんも一冊に挑戦しませんか。新刊書が並びました。ああ言えばこう行く、ハリポッターと秘密の部屋、ハリポッター

と賢者の石、生きてます十五歳、なりたい自分になる一〇〇の方法、中学生の教科書、あざみ姫、すしあざらし、こげばん、ミッキーをさがせ、など三十八冊。

日々を楽しく

野崎平四郎さん(92)

(平国)

野崎さんは竹籠作りと魚釣りを生きがいにしておられます。左官業を営まれていましたが、職を退かれた頃から本格的に竹籠作りは始められたそうです。材料の竹は以前は自分で切りに行かれていましたが最近では息子さんに切ってもらっています。



出来上がった作品は皆に喜んでもらえるのが嬉しくて差し上げてしまわれるので殆ど手許には残っておりません。十年余り奥さんを介護され、その間、町から表彰されたこともありましたが残念ながら四年前に亡くなら

れました。魚釣りは奥さんを看取られた後に始められました。一人で船に乗ることを家人から止められているので専ら近くの波止場で釣っておられますが、最近釣り仲間が出来、自分の船を提供されて沖へ出掛けられることもあります。ビールに砂糖を少し入れてたまに晩酌するのが楽しみです。これからも元気で良い品を沢山作られ皆を楽しませて下さい。(篠原記)

千葉紘子講演会のお知らせ



「折鶴」「幸せとんぼ」「宗谷岬」のヒット曲で知られる歌手で法務省保護司の千葉紘子さんの「文化講演会」を次の日程で開催しますのでお知らせします。テーマ・「子どもたちからのメッセージ」日時・11月29日水曜日・午後6時30分開演会場・町文化センター 入場料・高校生以上500円 中学生以下 無料 主催者・津奈木町教育委員会・つなぎ文化センター

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

十八で故郷を離れてから五十年近く経ちました。この間仕事の都合で、あちこち移り住みましたが、今名古屋に住んでいます。年とともに子供の頃に慣れ親しんだ故郷の山々と川が懐かしく思い出されます。今年の夏は、例年になく猛暑と早魃で庭の草木も勢いがなく枯れる有様でした。私は、二十年程前、父がまだ生きていた頃、父に頼んで矢城の山のうんべの苗木を送ってもらい、それを庭に植えました。数年のうちに垣根一杯に這う程繁りました。毎年、秋になると薄紅色のうんべが生り道行



故郷の山

元名古屋大学教授 鳥居達生

うんべのように美しくありません。毎年生るうんべは近所に少し分けてやり、大半私が食べてしまいます。野生ですから種が多く、種を覆っている白くて甘い部分は、少しですが、それを食べる度に子供の頃を思い

出します。内野の山での薪木取りや唐芋づくりに精出したこと、弟の哲次郎(中尾在住)とめじろかこ作りに熱中し、鳥餅(やんもち)と椿の花で、めじろとり山々をめぐったこと、清流

きな水害が発生しました。幸い私の家は難を免れました。名古屋は人口二百万の都市です。郊外の田畑は宅地に変わり、小高い山々は削られ、宅地造成が進んでいます。灌漑用の池は埋め立てられるか災害用の貯水池になり、その多くは水が汚れ釣もできません。緑が減り、その分子供の遊び場が失くなり大地の水を吸う力は弱くなっています。子供に自然の遊び場を、老人に静かで楽しい場をと思ふことしきりです。思い出す故郷の山めじろとり達生

気のかん、酒の肴はなかつたやほめられて、ますます自信つけよった 達生
気のかん、早う二人しておやりほめられて、何んでん持つて行きなつて 万葉
気のかん、たいぎやで席は外さなか 白足袋
ほめられて、値のす物ばいち呉るる 寅之助
気のかん、ビールはいつも冷やしとけ 寅之助
気のかん、グラスは空になつとるばい 神無月
ほめられて、きつか仕事もなんのその 神無月
〔次回の笠〕
○師走の風、おじれつたさ
一笠二句を 十二月十二日迄 津奈木町教育委員会へ